

工業用水道事業会計
平成30年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出
支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考	
1工業用水道事業費用	1営業費用		千円 1,090,337	千円 △21,067	千円 1,069,270		
			760,431	△21,067	739,364		
		3管理センター費	146,982	△10,101	136,881	給料 手当 法定福利費	△5,202 △2,125 △2,774
		5一般管理費	111,054	△10,966	100,088	給料 手当 法定福利費	△3,505 △4,668 △2,793

平成30年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	30,537
減価償却費	189,193
退職給付引当金の減少	△31,290
賞与引当金の減少	△679
その他の引当金の増加	8
長期前受金戻入額	△30,340
受取利息及び受取配当金	△1,902
支払利息	1,000
未収金の減少	41,978
貯蔵品の減少	1,743
未払金の増加	82,015
雑流動負債の減少	<u>△53</u>
小計	282,210
利息及び受取配当金	1,902
利息の支払額	<u>△1,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	283,112

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	<u>△549,863</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△549,863

資	金	增	減	額	
資	金	期	首	殘	高
資	金	期	末	殘	高

△266,751

3,067,114

2,800,363

債務負担行為に関する調書

事 項	補 正 前 限 度 額	補 正 後 限 度 額	補 正 前 支 払 義 務 発 生 (見 込) 額		補 正 後 支 払 義 務 発 生 予 定 額		左 の 財 源 内 訳
			期 間	金 額	期 間	金 額	
(変 更) 1平成30年度調整池更新工事	千円 362,880	千円 400,000	1年	千円 362,880	2年	千円 400,000	千円 400,000

平成30年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(平成31年3月31日)

	千円	千円	千円	千円
資 産 の 部				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産		10,173,490		
減 価 償 却 累 計 額		<u>△5,993,039</u>		
有 形 固 定 資 産 合 計			4,180,451	
(2) 無 形 固 定 資 産				
無 形 固 定 資 産 合 計			<u>1,123</u>	
固 定 資 産 合 計				4,181,574
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金			2,800,363	
(2) 短 期 貸 付 金			1,500,000	
(3) 未 収 金			200,000	
(4) 貯 蔵 品			<u>819</u>	
流 動 資 産 合 計				<u>4,501,182</u>
資 産 合 計				<u><u>8,682,756</u></u>
負 債 の 部				
3 固 定 負 債				
(1) 引 当 金			<u>160,450</u>	
固 定 負 債 合 計				160,450
4 流 動 負 債				

口 建設改良積立金	2,217,322		
ハ 当年度未処分利益剰余金 (うち建設改良積立金取崩分)	<u>130,537</u> (100,000)		
利益剰余金合計		<u>2,491,459</u>	
剰余金合計			<u>2,851,318</u>
資本金合計			<u>7,554,618</u>
負債資本合計			<u>8,682,756</u>

注 記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 10～60年

機械及び装置 2～22年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

該当なし。

III. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,759,893	4,290,020	2,632,843	8,682,756
セグメント負債	182,171	485,651	460,316	1,128,138
その他の項目				
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	368,309	73,599	107,888	549,796

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。